

形質の変更

(平 29.4[改正]平 30.4 令 6.11 令 7.5)

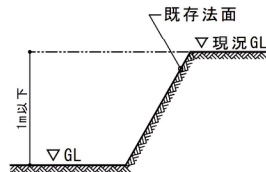
開発行為は、法第4条第12項の規定により「主として…(略)…土地の区画形質の変更をいう。」と定義されている。このうち形質の変更とは、切土、盛土等によって土地の物理的形狀を変更することをいい、田原市では~~50~~30センチメートル以上を超えるの切土、盛土等盛土又は切土を行うものを開発行為に該当する形質の変更として取り扱う。ただし、次の各号に掲げる行為については、原則として開発行為には該当しないものとする。

- (1) 建築物又は特定工作物本体の工事に伴う土地の掘削等の行為
- (2) 1メートル以下の既存法面を擁壁等で保護する行為(下図①参照)
- (3) 溢水を防ぐための小堤等の築造(下図②参照)

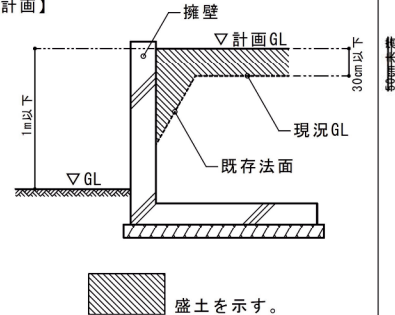
① 既存法面の保護

盛土を行う場合

【現況】

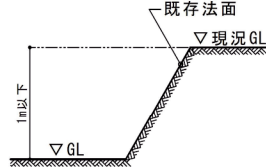


【計画】

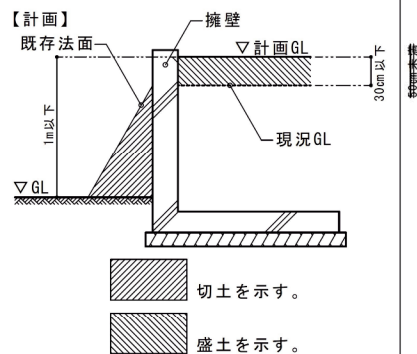


切土と盛土を同時に行う場合

【現況】



【計画】



② 小堤等の築造

【現況】



【計画】

